

NRIだより

- 1 トップメッセージ
- 2 連結財務ハイライト
- 4 2018年3月期上期のトピックス
- 6 2018年3月期上期のESGに関する取り組み
- 7 株主の皆様へのアンケートより
- 8 お知らせ/会社データ

2018年3月期 第2四半期

[2017年4月1日～2017年9月30日]

トップメッセージ

Share the Next Values!



上期として過去最高の売上高、営業利益を達成しました

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

国内景気は緩やかな回復基調が続き、企業の情報システム投資は堅調に推移しましたが、金融機関など一部に投資を抑える動きも見られました。

このような環境のもと、NRIグループでは、長期経営ビジョン「Vision2022」の実現に向け、既存事業の拡大と生産性向上に取り組むとともに、グローバルやデジタルビジネス分野等の新領域において、事業基盤の形成や実績の蓄積を進めました。

既存事業については、NRIの強みである共同利用型サービスのシェア拡大を着実に進めました。また、ITを

活用して様々な組織における働き方改革を支援するとともに、当社自身も生産性を向上させる働き方改革に積極的に取り組んでいます。

グローバルビジネスでは、豪州SMS Management & Technology Limitedをグループ会社としました。昨年度グループ会社化した豪州ASGとともに、豪州ITサービス市場での事業拡大を進めてまいります。

デジタルビジネスでは、2017年10月にKDDI株式会社と企業のデジタル変革を支援する合併会社設立について合意するなど、FinTech(金融とテクノロジーの融合)、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)を含めた様々な分野での新規事業開発を進めました。

その結果、当第2四半期の業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれにおいても過去最高を達成しました。

当第2四半期末の配当金は、普通配当と「NRI合併30周年記念配当」を合わせ、1株当たり45円と決定しました。また、資本効率と株主還元向上の一環として、政策保有株式の売却と自己株式の取得を進めています。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

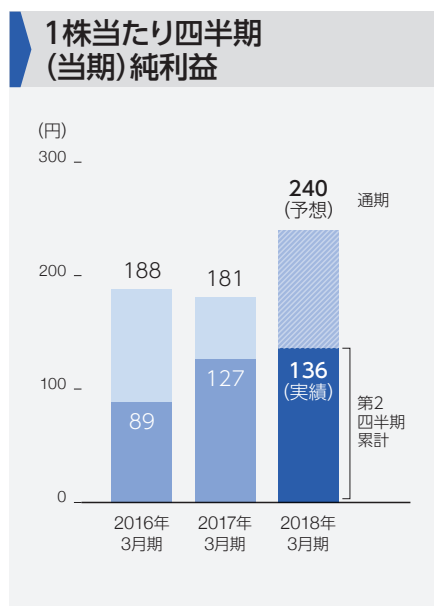
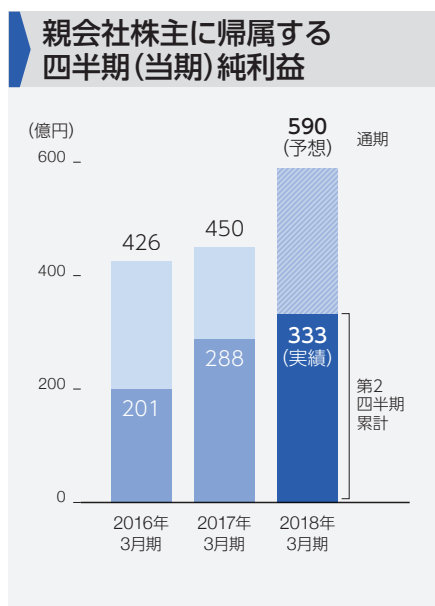
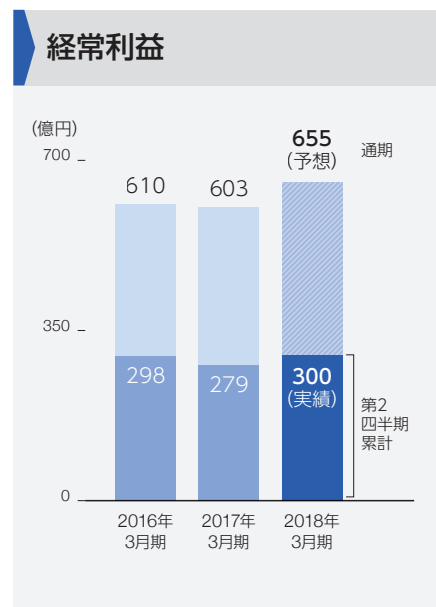
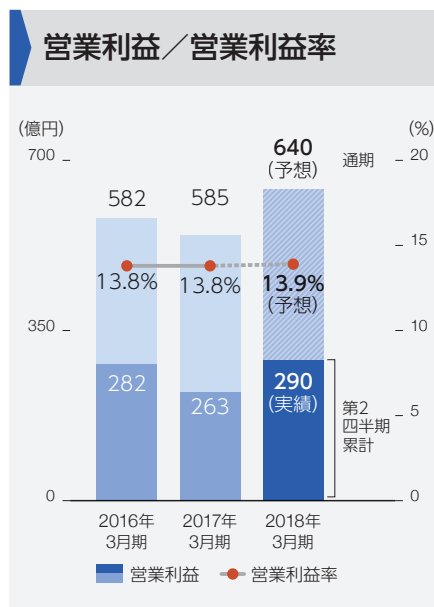
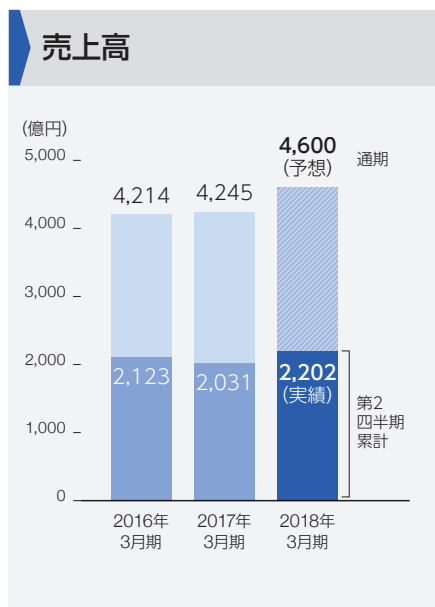
2017年11月
代表取締役社長

此本 臣吾

決算のポイント

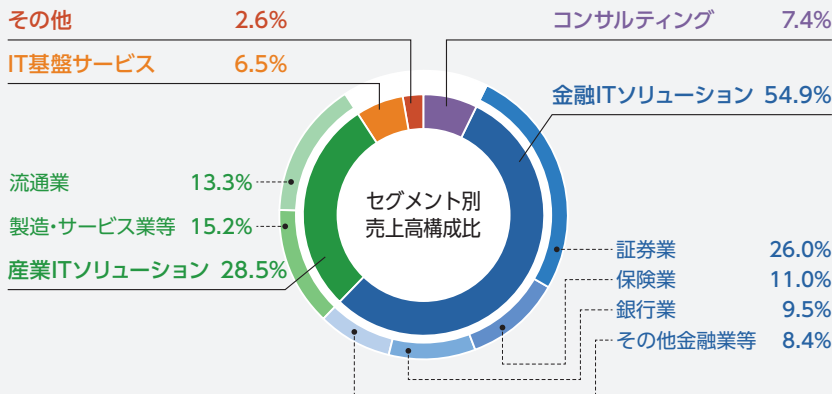
	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	2,031億円	2,202億円	+170億円	+8.4%
営業利益	263億円	290億円	+27億円	+10.5%
経常利益	279億円	300億円	+20億円	+7.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	288億円	333億円	+45億円	+15.7%

- コンサルティング部門とITソリューション部門との連携による顧客基盤拡大などの施策が実を結び、産業ITソリューションセグメントを中心に受注の拡大が進んでいます。
- その結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも上期として過去最高を達成しました。



- (注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり四半期(当期)純利益は円未満)を切捨てて表示しています。
2. 2018年3月期通期予想は2017年10月26日に発表したものです。業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
3. 1株当たり四半期(当期)純利益は、株式分割(2015年10月1日付および2017年1月1日付)の影響を遡及修正していない数値を表示しています。

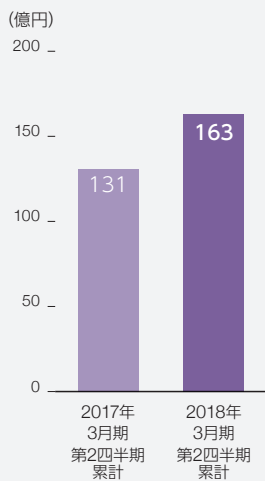
セグメント別外部売上高 (2018年3月期第2四半期累計)



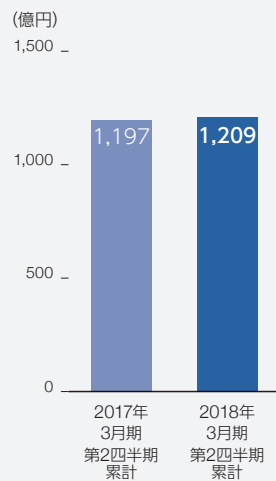
	売上高	前年同期比
コンサルティング	163億円	+24.4%
金融ITソリューション	1,209億円	+1.0%
証券業	572億円	+0.4%
保険業	241億円	△4.8%
銀行業	209億円	+10.5%
その他金融業等	185億円	+1.3%
産業ITソリューション	627億円	+24.0%
流通業	293億円	+10.1%
製造・サービス業等	334億円	+39.4%
IT基盤サービス	143億円	△0.2%
その他	57億円	+10.1%

主要セグメント別外部売上高 前年同期比較 (第2四半期累計)

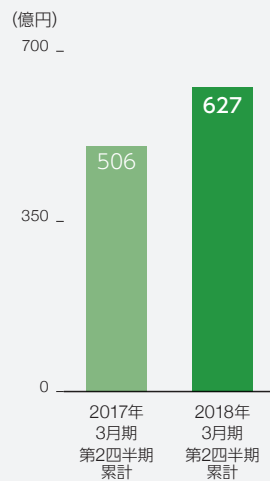
コンサルティング



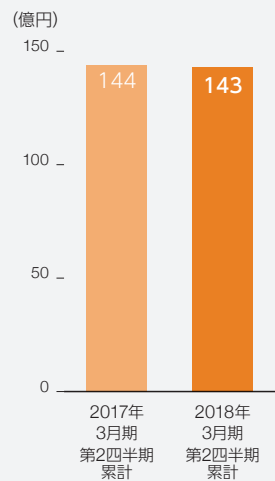
金融ITソリューション



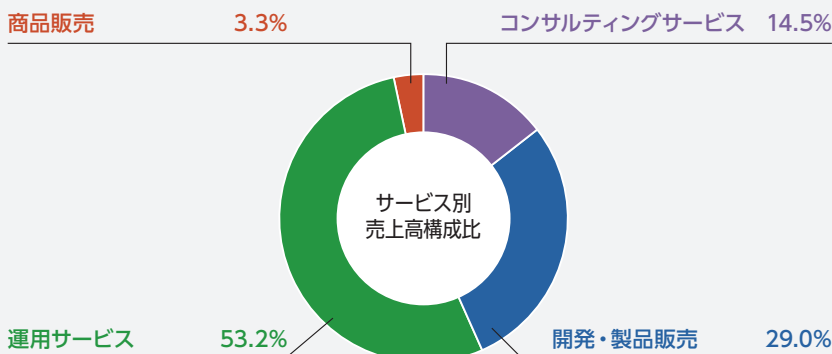
産業ITソリューション



IT基盤サービス



サービス別外部売上高 (2018年3月期第2四半期累計)



	売上高	前年同期比
コンサルティングサービス	319億円	+17.8%
開発・製品販売	638億円	△3.9%
運用サービス	1,171億円	+12.1%
商品販売	72億円	+41.1%

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

NRIの半年間のトピックスをご紹介します。

2017年 4月 Category 金融ITソリューション

公的個人認証と連携する署名検証(本人確認)サービス[e-NINSHO]を提供開始

ウェブサイト上で厳格な署名検証(本人確認)を必要とする事業者に対して、マイナンバーカードに格納された電子証明書等を活用して署名検証(本人確認)をおこなうサービス[e-NINSHO]の提供を開始しました。

6月 Category 産業ITソリューション

三菱地所とNRIが中心となって、「健康経営と働き方改革」を支援するソリューションサービスを開始



三菱地所株式会社、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会と共同でクルソグ[®]実行委員会を組織し、クルソグ参加者が使用するヘルスケアアプリ「WELL plus+(ウェルプラス)」の提供を開始しました。

※クルソグ: QOL(Quality Of Life)の間に「Office-Worker」をはさんだ造語「Quality Of Office-worker's Life So Good!」の略。

7月 Category IT基盤サービス

日本初、「ブロックチェーン診断」サービスを開始


NRIセキュアテクノロジーズは、日本で初めて、**ブロックチェーン技術^{*}**を活用したシステムやサービスを対象とするセキュリティ診断サービス「ブロックチェーン診断」を開始しました。

※ブロックチェーン技術: 「信頼できる第三者」を介在させずに参加者相互による分散型の合意形成を実現し、すべての取引の監査証跡管理を可能にする技術。ブロックチェーンで用いられている数学的暗号技術は「改ざんが非常に困難」「実在証明が可能」「一意の価値移転が可能」といった特徴を備えている。

7月 Category コンサルティング

国内100都市を対象に成長可能性をランキング


都市圏の人口規模等を考慮して選定した国内100都市を対象に、今後の成長性を左右する「産業創発力」の現状および将来性を分析した「成長可能性都市ランキング」を公表しました。



7月 Category IT基盤サービス

AI(人工知能)を活用し、サッポログループの「働き方改革」を加速

NRIが開発したAI型ソリューション「TRAINA/トレイナ」を用いて、サッポログループの業務効率化推進の実証実験を実施し、グループ内の問い合わせ対応業務の45%が「TRAINA/トレイナ」で人手をかけずに回答可能であることを確認しました。NRIはサッポログループのIT戦略パートナーとして、AIを用いた働き方改革の実現を支援していきます。



8月 Category コンサルティング

AIを活用した、「働き方改革」を支援するコンサルティングサービスを提供開始

働き方改革を推進するためのコンサルティングサービスとして、AIを活用し、個々の社員のスケジュール情報を分析して、社員の時間の使い方を可視化、改善を図るサービスの提供を開始しました。

8月 Category 産業ITソリューション

顧客ロイヤリティ・ソリューション業界のNo.1企業に認定

米国グループ会社ブライアリー・アンド・パートナーズが、IT業界専門調査会社フォレスター・リサーチ社の最新レポートにおいて、顧客ロイヤリティ・ソリューション業界のリーダー企業に認定されました。

8月 Category
金融ITソリューション豪州証券会社に「I-STAR/GV」を
提供開始

NRI FT インディアは、豪州の証券会社であるOpenMarkets社に対して、証券バックオフィス業務を支援するサービス「I-STAR/GV」の提供を開始しました。

8月 Category
金融ITソリューションセブン銀行、日本ユニシスとNRIが
共同で、日本で初めて勘定系システムへの
「東阪交互運用方式」導入を決定

株式会社セブン銀行(以下、セブン銀行)、日本ユニシス株式会社と共同で、2018年度を目途に、セブン銀行で稼働中の勘定系システム「BANKSTAR®」を、東京・大阪両データセンターで交互に本番機として運用する方式の導入を決定しました。これは、日本の金融機関として初めての取り組みであり、将来起こりえる広域被災時にも継続的安定稼働を実現し、金融機関の事業継続をさらに高いレベルで支えることが可能になります。

今後も技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、安心・安全と利便性を追求したサービスの提供に努めていきます。

9月 Category
産業ITソリューション豪州SMS Management &
Technology Limitedを買収

豪州におけるグループ会社ASGIは、豪州で顧客接点に近いコンサルティングおよびITシステム導入に強みを持つSMS Management & Technology Limitedを買収し、子会社としました。両社はサービス・顧客面で補完性が非常に高く、豪州ITサービス市場でのさらなる事業拡大を目指していきます。



SMSの概要

社名	SMS Management & Technology Limited
所在地	オーストラリア メルボルン
事業内容	システムコンサルティング、ITサービス、IT関連の人材採用・人材派遣事業
連結売上高* (2017年6月期)	304,464千豪ドル (258.3億円)
設立年月日	1986年7月18日

*売上高は、1豪ドル=84.85円で換算しています。

自己株式の取得に関するお知らせ

NRIは、資本効率の向上や経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、2017年7月28日から2018年3月30日までの期間で、自己株式取得をおこなうことを発表しました。^{※1}また、自己株式の保有については、自己株式を含む発行済株

式総数の概ね5%程度を目安とし、それを超過する部分は原則として消却する方針としています。この方針に基づき、今回取得する自己株式については既に、保有する自己株式の一部も含め、消却する予定です。

取得の内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	13,000,000株 (上限)
株式の取得価額の総額	500億円 (上限)
取得期間 ^{※2}	2017年7月28日~2018年3月30日

※1 取得する株式の総数または取得価額の総額を上限として自己株式を取得します。

※2 取得期間は約定日基準で記載しています。

取得の状況 (2017年10月31日現在)

取得した株式の総数	10,844,600株
株式の取得価額の総額	46,870,011,496円

2018年3月期上期のESGに関する取り組み

NRIは事業を通じて、社会課題を解決し、持続可能な未来を導く取り組みをおこなっています。以下では、機関投資家が重要視する非財務情報であるESG(環境・社会・企業統治)に関する取り組み事例をご紹介します。

国連グローバル・コンパクトに参加



Network Japan
WE SUPPORT

NRIは、「国連グローバル・コンパクト(以下、UNGC)」に署名し、2017年5月18日付で参加企業として登録されました。

UNGCとは、世界の企業や団体が、責任ある創造的なリーダーシップを発揮することで、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する、自発的な取り組みです。UNGCに署名する企業・団体は、「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」そして「腐敗の防止」に関わる10の原則に賛同するとともに、経営トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続していきます。



「一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」
<http://www.ungcn.org/index.html>

3つの新たなESG指数の構成銘柄に採用

NRIは、2017年7月5日付で新たに発表された3つのESG指数である、「FTSE Blossom Japan Index」「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」および「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に採用されました。

ESG指数は、株式運用をおこなう際の指数であり、前記3つの指数はいずれも、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が**パッシブ運用**※をおこなう際のESG指数に採用されています。

※パッシブ運用: 運用目標とされるベンチマーク(日経平均株価やTOPIXなどの指標)に連動する運用成果を目指す運用手法のこと。



FTSE Blossom Japan Index



2017 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数



2017 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数(WIN)

MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

夏休みに女子中高生向け職業体験イベントを開催

～リケジョのお仕事、見て・聞いて・体験～



NRI女性理系社員による講習

NRIは、昨年に引き続き、女子中学生・高校生を対象とした職業体験イベント(以下、本イベント)を、2017年8月15日に東京本社で開催しました。

理工系分野に興味がある女子中高生が、将来の自分をイメージして進路選択することを応援するために、内閣府男女共同参画局と経団連が連携して取り組ん

でいる活動「理工チャレンジ(リコチャレ)」に賛同しています。

本イベントでは、女子中高生への認知度が低い、「システムエンジニア」や「コンサルタント」といった職業について知り、理工系に進学した後の将来選択の幅を広げることを目的としています。

NRIグループはダイバーシティ推進の一環として、女性のさらなる活躍を応援していきます。

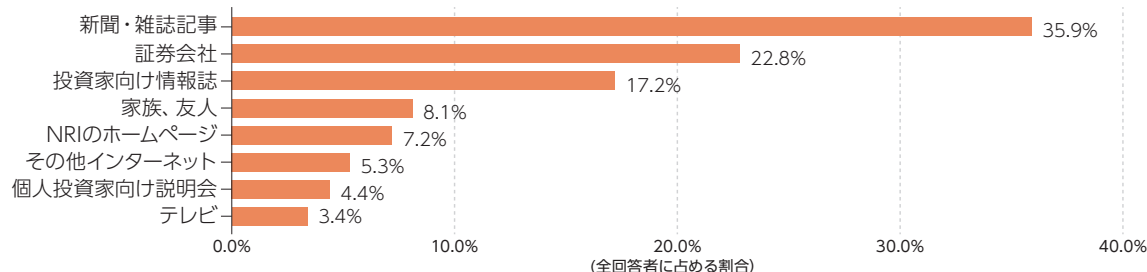


プログラム終了後のNRI社員と女子中高生との懇親会

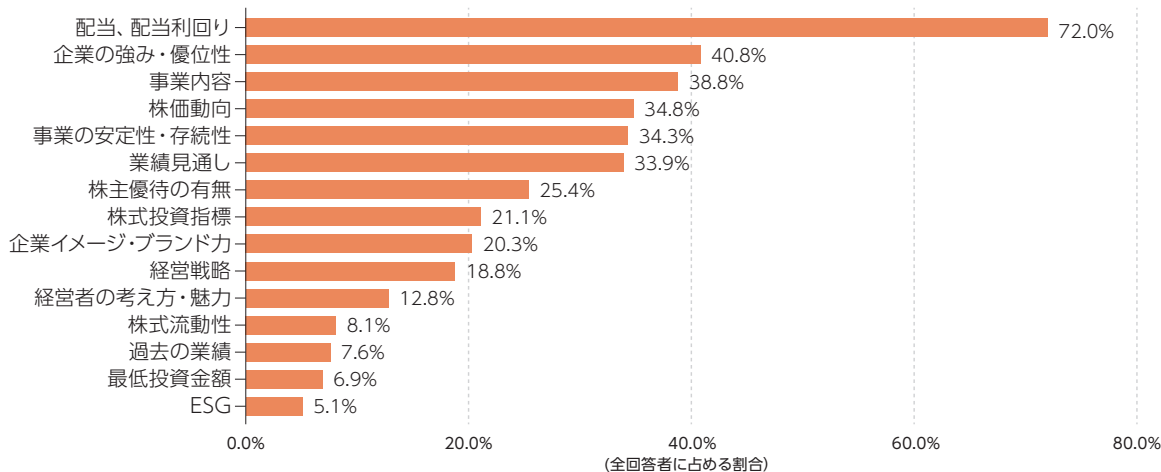
「NRIだより2017年3月期 第3四半期」アンケートにご協力を賜り、また、多くのご返信をいただき、心よりお礼申し上げます。主な集計結果をご報告いたします。

有効回答者数：3,516名 回答率：27.9%

NRI株式購入のきっかけ・理由となった情報源をお聞かせください (いくつでも)



株式投資全般について、投資銘柄を選ぶ際の重視項目は何ですか (いくつでも)



上記の設問以外にも、NRI株式の購入時期や保有方針などについてご意見をいただいたほか、NRIに対するご期待や励ましの言葉も多く頂戴しました。皆様のご期待にお応えできるよう、今後も努力してまいります。

今回のNRIだよりにもアンケートを同封しております。株主の皆様のご意見をお聞きし、今後のIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

2017年12月31日までにご返送いただいた方には、書類のクリップとしてお使いいただける「ロゴ入りマグネットクリップ」をお送りします。なお、ご回答者多数の場合には、やむなく代替の品をお送りすることがございます。ご了承ください。



「ディスクロージャー優良企業」および「IR優良企業賞」を受賞

ディスクロージャー
2017年度 優良企業



2017年10月、情報開示のさらなる進展のための模範となる企業として、NRIが公益社団法人日本証券アナリスト協会より、コンピューターソフト部門の「2017年度ディスクロージャー優良企業」に選定されました。また、2017年11月には、一般社団法人日本IR協議会より「IR*優良企業賞2017」に選定されました。

今後とも、NRIは投資家の皆様に対し、充実した情報を、広く公平に開示するよう努めてまいります。

*IR (Investor Relations): 企業が投資家に向けて経営や財務の状況、業績動向、ESG情報など、投資判断に必要な情報を発信する活動。

「統合レポート2017」を発行しました

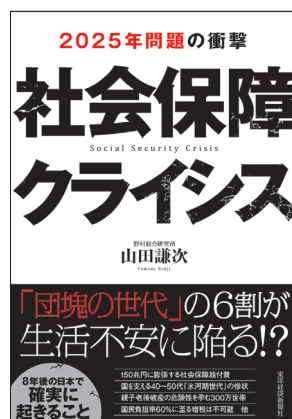


今年度は、執行役員のメッセージを拡充するとともに、CSR報告書を本統合レポートに統合し、企業価値向上に深く関わる非財務情報の発信を強化しています。



統合レポート2017(2017年3月期)
<http://www.nri.com/jp/ir/library/index.html>

NRIグループ社員による出版物のご紹介

社会保障
クライシス

東洋経済新報社 発行
 (2017年10月12日)

2025年、団塊世代が後期高齢者となり、国を支える40代は氷河期世代になる。NRIのコンサルタントが日本の社会保障が直面する危機について解説します。

会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所(NRI)設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター(NCC)設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 此本 臣吾
従業員数	6,003名/NRIグループ 11,605名(2017年3月31日現在)

株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店または証券代行部テレホンセンターまでお問い合わせください。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL http://pn.nri.com/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先・郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎ 0120-232-711(通話料無料)

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
 TEL 03-5533-2111 <http://www.nri.com/jp/>